


<p>第3学年</p> <p>学年通信</p>	<p style="text-align: center;">心意気</p> <p style="text-align: center;">こころざしを語り、夢に向かって 心意気を発揮する生徒になる。</p>	<p>豊田中学校 H29.9.28</p> <p>No.14 文責 直井 弘之</p>
-------------------------	---	---

素晴らしい体育大会の余韻を感じながら、これからは、合唱コンクールと進路にシフトを切り替える時期です。第2回の進路希望調査を回収中ですが、どこへ行くかではなく、何をしたいのかを保護者と生徒でじっくり考えてください。行き先は、行ける所へ行けば良いと思います。大切なことは、そこに興味が湧くものがあるか、やりたいものがあるか、自分の力を発揮できる場所なのか、自分の将来に繋がるものがあるのかが大切です。勉強も進路もスポーツも『己を知っている者』が一番強いと私は考えています。10月には、2回目の三者面談も予定しています。是非、親子でしっかりと話してから、面談に臨んでください。くれぐれも、面談中に親子喧嘩が始まらないようにお願いします。

☆校外体験学習「**大学・専門学校訪問**」の準備を進めています。

10月の『大学・専門学校』訪問は、総合的な学習（志タイム）の校外学習の一貫として、行います。将来に目を向けた時、進路学習の延長として子ども達に体験の機会として与えたいと考え、実施に踏切りました。しかし、進路講座での説明内容における趣旨が、保護者の皆様に十分浸透していない御家庭があるようです。生徒にも目的は話しているのですがきちんと理解していない節を感じます。今回の活動は、以下のように考えていますので再度御確認をお願いいたします。

- 1 目的 (1)上級学校を見学・体験する活動を通して、自分の将来の夢や目標、ビジョンを描く材料とする。
(2)自分たちで情報を収集し、活動のねらいを明確にし、活動の計画を立てて実行する。
(3)活動後は振り返りをして学年で共有し、自身のこころざしをより高次なものとし、自身や地域の未来に思いをはせる。
- 2 日時 平成29年10月4日（水）
- 3 訪問先 関東方面：筑波(1)埼玉(1)早稲田(7)東京(4)東洋(6)日本体育(9)
愛知方面：愛知淑徳(3)ノリ名古屋校(5)
県内大学：順天堂(5)静岡福祉(2)静岡理工科(5)静岡県立(13)静岡(30)
浜松医科(1)静岡産業(6)浜松学院短期(11)  【↑ 静岡大学】
専門学校：東海調理製菓(5)ルネサンスペット(3)国際観光(1)大原トラベル(1)
東海アクシス看護(2)静岡歯科衛生(1)静岡こども福祉(1)静岡デザイン(5)
※訪問先は、すべて生徒個人が保護者と相談の上、選択しているはずです。
- 4 経費 かかる経費は、すべて自己負担です。
- 5 その他 企画書が出来上がったら、保護者に点検していただき、押印をもって了承とします。保護者の許可が無ければ、行く事はできません。保護者の許可がもらえない場合は、行き先を変えて許可をもらうか、体験活動を中止して、当日は欠席（自宅学習）となります。

【進路連絡です。】

先の学年通信で、『返済義務のない奨学金のお知らせ』をしました。返済義務のない奨学金は、かなり高い学力を要求されるために、なかなか給付されません。それに比べ、返済義務のある奨学金は、比較的受給しやすいものがたくさんあります。生徒が持っている『未来に向かって』のP36に各種奨学育英制度が掲載されていますので、ご希望があれば、担任まで申し出てください。保護者の給与所得等の書類も添付しますので、申込み時期に遅れないようお願いいたします。詳しくは、11月10日(金)3年進路講座でお話します。